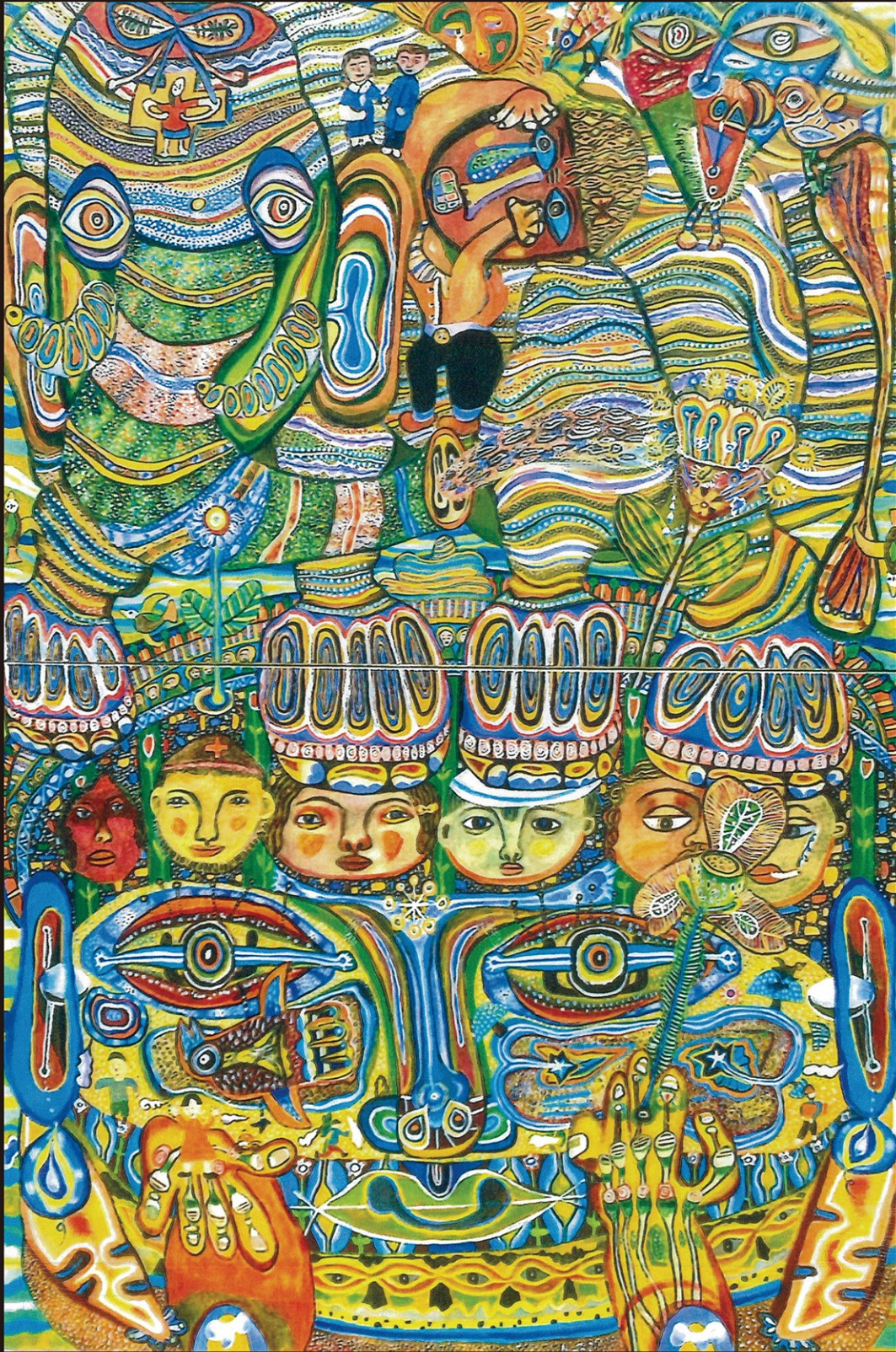


よるいそい!



象の花子とお地藏様

佐野強の世界へ

2024年4月27日[土] → 6月2日[日]

【会場】身延町みすきふれあい館

【主催】 身延町 身延町教育委員会

【後援】 山梨県、山梨日日新聞社 山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、エフエム甲府、朝日新聞社甲府総局、読売新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局

身延町みすきふれあい館 〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345 TEL 0556-20-4555 FAX 0556-20-4558

●観覧料/無料 ●開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休館日/毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日が休館)

佐野強の世界へようこそ! 2024年4月27日[土] → 6月2日[日]



無花果の姿容



絵の芝居



おいしそうだな

佐野強は1953年に南部町に生まれました。

佐野は、小学校の図書室でゴッホのひまわりの絵を見て感動したことをきっかけに、絵描きになることを決めます。身延高校へ進学後も、小学生の頃の感動をそのままにゴッホのような絵を描き続けました。大学は多摩美術大学へと進み、本格的に洋画について学びます。卒業後は、「常に一枚一枚の絵を大切に描きたい」という気持ちを忘れずに、画家として様々な展覧会への出品、個展、グループ展を継続しておこなっています。

キャンパスには、佐野の考える「多様性」が込められています。「絵画には具象・抽象などの様式が、植物や生き物には数えきれないほどの種類があり、各々が関係しあい、影響を及ぼしあっている」。それが佐野の考える「多様性」です。そんな世界を、鮮やかな色彩で描かれた、野性的だったり物悲し気だったり様々な表情を見せる生き物や、力強くも自然体に描かれた植物によって、表現しています。

キャンパスに広がる「佐野強の世界」を、覗き見てはいかがでしょうか。キャンパスの細部までみっちりと散りばめられたモチーフの中からは、佐野本人ですら思ってもみなかった、あなたにだけのメッセージを読み取ることがあるかもしれません。

身延町みすきふれあい館

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345 (身延町西嶋和紙の里内)
TEL 0556-20-4555 FAX 0556-20-4558 身延町HP <https://www.town.minobu.lg.jp/>
和紙の里HP <https://www.town.minobu.lg.jp/washi/>

アクセス	電車	JR身延線※1「甲斐岩間駅」下車 ・徒歩25分(約2km)	※1 身延線はJR東海道本線「富士駅」又はJR中央本線「甲府駅」より乗り換え可能 ※2 和紙の里無料駐車場あり(普通車55台、バス6台)
	自動車※2	□中部横断自動車道 六郷ICから約5分 ・県道9号線を静岡方面に向かい「峡南橋東詰」交差点を右折 □新東名高速道路 新清水JCTから約40分 ・国道52号線を甲府方面に向かい「峡南橋西詰」交差点を左折	
	高速バス	中央高速バス 身延新宿線 ・新宿駅高速バスターミナルより約3時間 バス停「西嶋」下車 徒歩0分	

